

子どもの姿

園庭に出ると砂場に向かい「先生、昨日みたいにしよう!」とスコップを持って砂を掘っていく A 君。B 君と C 君はジョウロで水を運んで掘った所に溜めていきます。どんどん水が溜まっていく様子が面白くなってきて、「もっとしよう!」と、A 君は掘り続け、B 君はジョウロのシャワーから、C 君はジョウロの水を入れる方からジャーツと勢いよく、それぞれのやりたい方法で水を何度も入れていきます。「溜まってきたよ!」と、大きな水たまりができていく様子を楽しんで遊んでいました。



保育者の思い

昨日、楽しそうに遊んでいたから、今日も遊ぶかもしれないと予想して砂場の近くに水場を用意しておいてよかった。今日はどのように遊ぶだろう。

A 君の掘った所に水を入れるとどんどん水が溜まってきた。変化が目に見えて面白く感じているのかな。

昨日から、A 君はいろいろな場所から砂を掘ってみようとしているな。B 君と C 君はジョウロをそれぞれの使い方です水を運んでいるな。他にも水を運ぶ用具があるのに、なぜジョウロを選んだのかな?

保育者の予想

保育者は手桶を使ったり、バケツやボウルなども近くに置いたりしましたが、B 君と C 君はジョウロを選んで使っています。持ちやすく、使い慣れているものだからかな?



子どもの育ちや学び

「昨日と同じようにたくさん砂を掘って水を溜めたい」という A 君の思いや遊びを見て面白さを感じ、自分なりの方法で掘ったり溜めたりしようとしていました。

B 君はシャワー部分から水が出る様子や、水を吸んで運ぶことを楽しみ、C 君はジョウロの水を入れる上部の方が広くてたくさん水が出ることに気付き、ジョウロの使い方をいろいろ試しながら水を何度も運んでいました。

大きな水たまりとなっていくことが目に見えて面白く、子ども達は「もっと水を溜めたい」「僕もやってみたい」と、夢中になって砂を掘ったり水を運んだりしていました。

家庭だったら

子どもと一緒に砂を掘って遊んでいると、子ども達が「もっと掘ってみたい」「水を溜めてみたい」という気持ちになることがわかるように思います。

一緒に虫を探したり、花を摘んだり、子どもと一緒に遊ぶ時間をもつことが、子どもの気持ちを理解することに繋がるのですね。